

NEW スタイル
前半/後半
分離型研修

JMI 日本マネジメント協会

コロナ感染防止と教育・研修

前半/後半 分離型研修

催行をおすすめします

株式会社 日本マネジメント協会 関西

(共 132)

コロナ禍と社/職員教育

あらゆる組織の存続のためには、社/職員の教育が不可欠であることはいうまでもありません。ヒトの身体で例えると毎日新しい細胞を作ることに相当するからです。

社/職員への教育の3本柱は

- ・OJT (仕事をしながら教育)
- ・Off-JT (仕事から離れて教育=主に集合研修)
- ・SD (自学・自習)

で、このうち中心となるべきは OJT であり、それを補うのが研修や自学・自習です。特に計画的に OJT と研修を組み合わせることは、それぞれの短所を互いに打ち消し合って、人材の育成に抜群の効果を発揮します。

ところが現状、すべての組織は、新型コロナウイルスの影響で前例のない存続のピンチに置かれているといっても過言ではなく、OJT と Off-JT が当初の計画通りに遂行できないという実体験をしているところです。

Off-JT を受託する企業である弊社は、このままでは日本のほとんどの組織に大きな穴が開いてしまう、と考えています。

研修を「実施見送り」で済ませてよいのか、ことし見送ったシワ寄せはどこに行くのか、ことしの新入社/職員はいったいどうやって職務に就いているのだろう、何とかこの状況下でも開催する方法はないのか…と考え、たどり着いたのがこの「前半/後半分離型研修」です。

研修計画を消化しなければならない理由

上述の通り、研修は組織に必要不可欠で、重要性が極めて高いものです。一方、実施は早いに越したことはありませんが、緊急性というそれほどでもなく、どうしてもイレギュラー発生時には開催見送りという措置を取られます。

ただ、いったん開催を見送られた研修は、なるべく早いうちに振替実施をするのが妥当です。なぜなら、完全に取り止めても問題や影響が出ない研修ということは、最初からその研修など実施する必要がなかったと明言していることに等しいからです。

前半/後半分離型研修とは？

従来型の研修の特徴を、前半と後半に完全に分離して実施する研修です。

従来型の集合研修は下表のようなイメージで進行します。(2日間コースの場合)

初日	講義・説明 (L)	グループワーク (GW)	解説	L	セルフワーク (SW)	GW	解説	L	GW	...
2日目	L	SW	GW	解説	L	SW	GW	L	GW	...

一方、分離型研修の場合は、下表のように進めます。(後半1日コースの場合)

前半	L	L	SW	L	L	SW	L	SW	L	...
後半	GW	解説	GW	解説	GW	解説	GW	解説	GW	...

つまり、前半は「講義・説明」と「セルフワーク」を集約していますので、手もとにテキストを広げて、動画を視聴しながら学習します。

後半は、グループワークや討議やロールプレイング等ばかりを集約していますので、後日、全編が研修会場での参加型学習となります。

この分離型研修は、弊社がコロナ対策として編み出したものです。

従来型集合研修と同じ内容をそのままリモート研修として配信するだけでは、どうしても研修プログラムの進行に限界や消化不良が生じますので、それならば逆にデメリットとなる部分(グループワーク等の部分)だけを後日の集合研修に集約し、録画や配信に振り替えても十分に品質を保つことができる部分(講義部分)だけを先にやってしまうという発想から生まれています。

分離型研修にすることのメリット

【前半】送付する指定テキストと、対応するYouTube等の指定動画が教材になりますので、いつでもどこでも学習できます。集まる必要もリアルタイムである必要もありません。

また知識・理論の学習がメインの場合は、前半だけの履修でも目的が達せられます。

【後半】前半の講義部分を履修済みという受講者が指定研修日に従来型研修のように集まりますので、速やかに体験・参加型学習へ進んでいきます。

リモート研修の最大のネックはグループワークができないことですが、GWを外すわけにはいきませんので、後日これだけを集中的に実施するのです。

お問合せ・ご相談

<共 132>

JMI 日本マネジメント協会 関西 企画部

〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-9-10 TEL06-6444-4881 FAX06-6444-1307

E-mail:kikaku@jmi-web.co.jp